

導入事例
らくらくボード
LCD-CU651EDB-T-AG

歴史と伝統の学び舎で先進のBYOD環境 多様性を尊重するベストな選択「らくらくボード」



生徒の自主性と先生方の働きやすさを尊重し、BYODによる教育環境を実現した学習院女子中・高等科。同校では、中等科1年から高等科3年に至る全30クラスに「らくらくボード(LCD-CU651EDB-T-AG)」を導入しました。学内で活用されている多様な端末との相性を考え、多機能の電子黒板等ではなく、あえて「タッチ機能のある大型ディスプレイ」という選択をしています。実際に使ってみたら「本当によかった」とお話ししてくれたのは、導入当時、同校のICT委員を務められた家本佳代子教頭です。その先進的な教育環境において「らくらくボード」がどう活用されているのか、詳しくお話を伺いました。



導入商品

20点マルチタッチ&4K対応65型
(可視領域64.5型)
ワイド液晶ディスプレイ

らくらくボード
(LCD-CU651EDB-T-AG)

様々なデジタル教材を使った授業の中心に「らくらくボード」

—— 普段はどのようなIT環境で授業を行われているのでしょうか。

生徒の皆さんは、MacBook、Windowsタブレットなど、様々な端末をお持ちですね。

当校ではBYODを推進していきまして、生徒もそれぞれ自分の端末を1台、ネットワークに登録しています。端末だけでなくアプリやツールもある程度主体的に選ばせており、安全に使えるように環境を整えました。「らくらくボード」は普段の授業で、先生方が様々な教材を表示して使っています。デジタル教科書、ロイロノート、英語の授業では音声を聴いたり、単語ノートを使ったり、数学では様々なデジタルドリルや授業支援アプリを活用しています。Webアプリは基本的に端末を選びませんから、BYODとは好相性ですね。先生も生徒もそれぞれが使いやすいものを選んでいきます。



—— 「らくらくボード」の導入後、生徒の皆さんの反応はどうでしょうか。

「見やすい」という声が圧倒的です。デジタル教材を利用するために、これまでディスプレイの視認性など様々なハードルがありましたが、それがずいぶん下がったと思います。一番後ろの席からもよく見えますし、レスポンスの良さも評価できます。また、生徒が発表する際にも使っています。最近はいよいよコラボレーションツールがたくさんあり、グループワークで1人の生徒に負担が偏るという問題もなくなってきました。それぞれがCanvaやアイビスペイントをはじめとするデザインツールを駆使してスライドを作り、「らくらくボード」に表示させています。せっかく頑張って作ったものですから、できるだけ大きく、きれいな画面で見せてあげたいですね。

BYODの進んだ多様な環境で、「らくらくボード」はベストな選択

—— 電子黒板、タッチなしの大型ディスプレイなど様々な選択肢がある中で、

なぜタッチ機能搭載の大型ディスプレイ「らくらくボード」を選ばれたのか、理由をお教えいただけますか。

BYODの推進により、先生方もWindows/パソコン、iPadなど様々な端末を使っています。当校は中高一貫校であるため、教員の人数も多く、勤務形態や勤務時間も人により様々です。中には週1日しか授業を担当しない先生もいますので、支給端末で環境を揃えるようなことは現実的ではなく、それぞれが普段利用しているデバイスやソフトウェアを活用したほうがよいと考えています。そうすると学校に導入されるIT機器には、どんな端末とも相性がよいことが求められます。ですから、利用端末を選ぶ電子黒板はニーズに合いませんでした。OSが搭載されていますから、アップデートなどの管理業務が増えますし、管理しきれなければリスクやトラブルにつながりかねません。電子黒板は高機能で便利ですが、逆に使い方を覚えることが先生方の負担になるという懸念点もあります。実は以前、トライアルとして1台導入したのですが、うまく活用につなげられなかった経験があります。また、今から新規導入するのに、普通の大型ディスプレイでは物足りないという思いもありました。直感的に手で操作できるほうがいいですね。教室に合うサイズであることや、画面の美しさも重要です。このような希望を挙げていくと、すべてを満たす製品はあまりなく、おのずと「らくらくボード」に決まったのです。

—— 今後のご活用予定についてお聞かせください。

現在、イベントの校内配信など、授業に留まらない使い方を模索中です。先生方の負担を増やさないことを心掛つつ、これからも生徒たちによりよい学習環境を提供していきたいと考えています。

※MacBookは、Apple Inc.の商標です。
※ロイロノートは株式会社LoiLoの登録商標です。
※PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※その他の商品名、サービス名、会社名は、各社の商標、登録商標もしくは商号です。

取材にご協力いただいた先生



学習院女子中・高等科
家本 佳代子 教頭



CLIENT DATA

導入学校/学習院女子中・高等科
所在地/東京都新宿区
開校/1885年